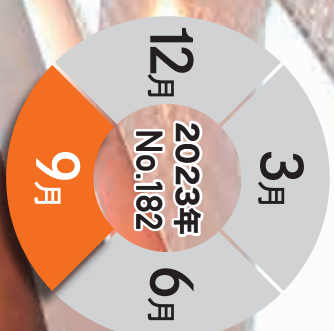




沖縄県伊江村
議会広報



インタビュー



伊江村議会事務局



どんな

質問をしたの!?

P2~7

令和4年度完了事業をチエック!...P10
・あの質問・質疑は どうなった!?P12

今月の
表紙紹介
P12

ここを問う

一般質問の詳細については、ホームページの第5回定例会をご覧ください



「牛どころ伊江島」の復活に向けて

村長 畜産農家の支援について検討していく

問 本村はかつて「牛どころ」として県内に名をはせ、北部や県の畜産共進会の肉用牛の部門では、毎回優秀な成績を納め、どの自治体も伊江村を見習え、追いつけと畜産振興に力を入れ、今では他市町村に追い越され県共進会への出品も少なくなっている。共進会

リ値は下落し、畜産農家は大変苦しい経営を強いられている。畜産施設は完成したものの預託料が高いとのこと等で畜産農家の皆さんは預託に躊躇し施設の目的が十分発揮できるのか心配されている。そこで次の点について伺う。

1. 預託牛に対する助成制度の創設はできないか。
2. セリ購買者誘致のトップセールスは実施したのか。
3. 全国和牛能力共進会出品者に対する魅力ある報償制度の創設はできないか。
4. 優良精液への助成はできないか。
5. 畜産後継者の育成はできないか。

答 村長

1. 預託牛の料金については「伊江村畜産総合施設運営委員会」において必要とするすべての経費を積み上げ議論を重ね決定している。指定管理者による安定的な経営に向けて支援する。
2. トップセールスについては令和4年度中に実現できるよう協議を重ねたが実現できなかった。可能な限り早期に実現できるよう調整する。

る。

3. 魅力ある報償金について、主体は和牛改良組合であるが、これまでは報奨金10万円と支度金7万円の合計17万円が支給されている。魅力ある報奨金について和牛改良組合と協議する。
4. 優良精液への助成については、商品の量や地域に価格差があり地域全体への公平な助成に課題があり優良種畜のET^{※2}移植による優良血統繁殖雌牛の増頭を推進する。
5. 後継者の育成については、新規就農や親元から独立経営を望む畜産後継者向けに1力年〜2力年間繁殖研修を総合施設で実施し畜産担い手の育成を図る。

問 県内には畜産セリ市場が8市場あるが、その成績は、今帰仁市場が一番で伊江村市場は2〜3番目となっている。

去った4月セリで今帰仁村と比較すると一頭当たり85,000円も安くなっている。また村の畜産の売上は令和元年度が14億5,000万円に対し、令和4年度は11億円となり実に3億6,500万円も下がっている。

答 村長

伊江村の牛の系統の多さも指摘されている。その反面牛価格が下がっている時にこそ増頭のチャンスだとも考えるが、畜産農家を支援することはできないか。

市場価格の下落には、上場頭数が少ないことや購買者が少ないこともその要因だと考えている。増頭対策としては令和5年度から以前に実施した優良繁殖牛導入事業(100頭)を今後3ヶ年継続して実施する。

新規購買者を増やすことについても今後努力する。各農家の増頭や経営拡大についても相談があれば一緒に考えたい。

※1 全国和牛能力共進会

5年に一度、開催される「和牛の祭典」で全国の優秀な和牛を一堂に集めてその優秀性を競う。審査は雄牛、雌牛の姿・形を審査する「種牛の部」と肉質等を審査する部門等がある。

※2 ET移植

受精卵移植は優良な雌牛から胚を採取し、体外で凍結などの操作を行った後に、別の雌牛に移植すること。



しまぶくろ よしのり
島袋 義範 議員



村政の

阿良浜突堤並びに大口岸壁での、飛び込みや遊泳自粛を促すことはできないか

教育長

遊泳許可区域内で遊泳することを指導していく

問

海水浴シーズン到来で、毎年、危惧していることは休校日や部活終了後に、小、中の生徒が、ライフジャケットも着用しないで、阿良浜突堤並びに大口岸壁で、悪ふざけにも思える飛び込みや遊泳をしているのを、度々見かけている。長年、海に関わった者として思うことは、海の怖さを知らない、無鉄砲な遊びをしていると危惧している。幸い村内での児童生徒による水難事故は発生していないが、油断は禁物だと考えている。事が起こってからでは遅いのではないか。そこで、阿良浜突堤並びに大口岸壁での、飛び込みや遊泳自粛を促す対応を切望するがどうかを問う。

答

教育長 玉城洋之

遊泳許可区域の伊江ビーチ以外の海岸、特に阿良浜突堤や大口の岸壁付近で遊泳しているという状況は度々目撃されており、情報が寄せられている。その場合は、その都度、連絡があった場所へ村職員が出向き、遊泳しているときは、注意を促し指導している。

また、遊泳許可区域以外での遊泳は、水難事故につながる恐れがあることから、小中学校では、児童生徒へ注意喚起を促すとともに、今年5月に



大口岸壁に設置した遊泳禁止看板

は、村教育委員会主催、村青少協（青少年健全育成協議会）共催で、水難事故防止教室を開催している。本教室は、本部警察署の協力を得て小中各学校を訪問し、水難事故の恐ろしさについて講話するほか、遊泳が許可されていない阿良浜突堤や大口岸壁等を危険な区域として指導を実施している。

また、本年度、阿良浜入り口に「飛び込み禁止」の看板を、大口岸壁には、港湾施設の管理上、船の往来の妨げになる恐れがあるため「遊泳禁止」の看板を設置することを計画している。これから夏本番となり、海水浴をする機会が増えるので、6月の広報誌には、村民への周知を行うとともに、学校を通して児童生徒に危険な区域では遊泳せず、遊泳許可区域内で遊泳することを指導していく。

伊江港旧ターミナル2階レストランの再賃貸契約は

村長 村内の事業所と出店に向けて協議を進めている

問

令和3年9月定例会で並里議員から港旧ターミナル棟2階の活用についての一般質問があり答弁で、伊江港内の食事処の設置はコロナ収束後に向けた、観光面からも重要であることから、村のホームページ等で村民及び村内に事業所を有する方を対象とした、公募等も視野に入れながら早期に対応したいとの答弁だった。コロナも、季節性インフルエンザと同じ5類に移行となり、通常の生活に戻り、飲食店等も活気が感じられる。とりわけ、観光客の来村も盛況となり、食事処の設置は観光客のみならず多くの村民からの声もある。そこで、伊江港旧ターミナル2階レストランの再賃貸契約はどうなっているか。

答

村長

伊江港旧ターミナルビルは平成4年7月に完成し、2階のレストランは平成5年7月からこれまで3事業所が営業しており、島の玄関口として多くの観光客や仕事で島を訪れる方、また村民にも広く利用され令和3年2月末に「いえじま家族」が退去し、同年10月号の広報誌において入居者募集を掲載したが、コロナ禍の状況の中で飲食店を開業することへのリスク等もあり、問い合わせが少ない状況にある。村商工会や観光協会にも出店募集について相談を行い、再度、令和5年1月号の広報誌やホームページ等で周知を行ったところ、村外から3件の問い合わせがあり、企画提案書の提出もあったが、直前になって人手不足や会社の都合により、3社とも辞退となり、今年から伊江島一周マラソン大会やゆり祭りも4年ぶりに通常開催され、連日多くの観光客が訪れる一方で、伊江港内の食事処は「海人食堂」のみで、観光客や村民の皆さまに不便をきたしているところは重々承知しており、その必要性は十分に認識している。現在は、村内の事業所と出店に向けて協議を進めている。



かめざと しろろう 亀里 敏郎 議員



機能的な農業基盤整備に向けて

村長 農業振興に資する農業基盤整備事業を展開していく

問 令和5年度の事業計画に農業基盤整備促進事業（クビリ原地区）がある。その現状は、豪雨時に圃場の赤土流出や地区内を通る幹線農道の改修要望が多く、また隣接する墓地（ナナフツパ）の進入路が狭く未整備のため、支障がある。そこで3点について伺う。

月5月末に交付決定を受けたことから、今年度の調査設計業務において、村道拡張や排水施設の整備についても検討する。

1. 地区内の村道272号線の道路幅員拡張と側溝を整備できないか。

2. 墓地への進入路については、幅員が狭くコーラル敷農道で車両の往來に支障があると認識している。当該道路は、墓地だけではなく南側の圃場への進入路としての機能を有することから、圃場へアクセスするために必要な農道として今回の整備計画に含めて計画する予定である。

2. 墓地の進入路も事業計画地区に入っているか。

3. クビリ原地区の事業完了は何年度になるか。

3. クビリ原地区の事業完了は何年度になるか。

1. 当該地区を横断する村道272号線については圃場からの耕土流出や村道冠水の発生、さらには村道幅員が狭く大型車両通行時にはすれ違いが困難な状況も把握している。当該地区の団体営調査設計事業については、先

答 村長

1. 当該地区を横断する村道272号線については圃場からの耕土流出や村道冠水の発生、さらには村道幅員が狭く大型車両通行時にはすれ違いが困難な状況も把握している。当該地区の団体営調査設計事業については、先

2. 当該地区を横断する村道272号線については圃場からの耕土流出や村道冠水の発生、さらには村道幅員が狭く大型車両通行時にはすれ違いが困難な状況も把握している。当該地区の団体営調査設計事業については、先

3. クビリ原地区の事業完了は何年度になるか。

3. クビリ原地区の事業完了は何年度になるか。



東江前溜池

クビリ原地区



墓地（ナナフツパ）の進入路



しまぐろ 島袋 つとむ 議員

ふるさと納税寄附金の増額に向けた取り組みの拡充は

システム導入は先進地調査を行い、ポータルサイトの追加については慎重に検討していく

ふるさと納税は、返礼品による地場産業の活性化、自主財源の確保にもつながることから、継続的な寄附金の増額に向けて取り組むべきと考えるが、村の理解を伺う。

1. 返礼品として島内の宿泊施設、飲食店などで利用できる電子地域商品券を発行できるふるさと納税システムの導入はできないか。

2. 寄付金の増額に向けて、さらなる情報発信は必要と考えるが、新たにポータルサイトの追加はできないか。



ふるさと納税のポータルサイト
ふるさとチョイス

答 村長

1. ふるさと納税システムの導入については、導入効果や費用対効果などの検証を行いながら先進自治体の事例調査をしていきたい。

2. 令和4年度に導入したポータルサイトの寄附額の推移を見定めながら、新たなサイトの追加については、慎重に検討していきたいと考えている。

問

ふるさと納税は自主財源を確保し、様々な施策を実現するための有効な手段であり、画期的で現実的な実現可能な施策を講じながら、地域振興に向けてふるさと納税制度を最大限に活用していただきたい。

難病患者等の経済的な負担軽減への支援事業の拡充はできないか

村長 早急に検討を行い、離島患者等へきめ細やかな支援を行う

問

「沖縄県離島患者等支援事業」の助

成対象となる「がん患者、小児慢性特定疾病児童、指定難病患者、特定疾患患者等」への支援措置がなされていない状況にある。

離島患者等支援事業を最大限に活用し、

助成対象の疾病範囲の拡大、助成事業の拡充を図り、難病患者等の通院費の経済的負担を軽減し、良質かつ適切な医療を受ける機会を確保することが喫緊に取り組むべき課題であると考えているが、村の理解を伺う。

答 村長

県の離島患者等通院費支援事業で対象となる疾病をもつ離島患者等への通院費支援の事業化について、早急に検討を行い、離島患者等へきめ細やかな支援を行ってきたいと考えている。

問

事業対象の難病患者間に不公平が生じないよう、1日でも早く対象患者の経済的負担軽減に向けて迅速に支援制度の構築に取り組んでいただきたいと思う。通院費支援事業の事業化には、沖縄県との事務調整、補助金交付要綱、予算確保が必要不可欠となるが、そのスケジュール感はどうなるのか。



みやぎ ひろかず
宮城 弘和 議員

答 医療保健課長
万寿祥久

補助対象となっていないがん患者等の支援ができる要綱等の整備を行い、9月ぐらいには制度をスタートし、支援をしていきたい。

問 離島患者等通院支援事業交付要綱の策定にあ

たっては、自動車の航送料の助成、付添人の拡充など、患者の通院実態に即した支援策が講じられるよう、きめ細やかな配慮と適格適正な助成制度の構築をしっかりと取り組んでいただきたい。

答 医療保健課長
万寿祥久

実情を十分に考慮して、村の単独事業という形で上乗せして、きめ細やかな事業策定を進めていきたい。

※3 ポータルサイト

ホームページを見ると、最初に表示されるWebサイトのこと。

※4 離島患者等支援事業

がん、難病等の患者及び妊婦並びにその付添人が島外医療機関を受診する場合に要する交通費や宿泊費の助成を行っている市町村に対し、その費用の一部を補助する事業。



伊江島をPRする仮称「伊江島物産フェア」の開催はできないか

村長 一括交付金を活用し、独自の物産フェアができるよう計画したい

問 村独自の仮称「伊江島物産フェア」を県内・県外で開催し、島の魅力ある物産を展示しPRすることにより、伊江村の認知度を高め、本村の観光産業の振興を図り、島の特産品の需要拡大につなげることで、地域の経済に大きく寄与する事業になると考えるが、村の見解を伺う。

1. 過去10年間における村独自の物産フェアの実績は

2. 「離島フェア」・「県産業まつり」の出品業者への支援状況は

3. 仮称「伊江島物産フェア」を開催する場合の課題

答 村長

1. 「伊江島特産品フェア」を平成27年から4年間、浦添市のコープ牧港店で開催した。また、平成28年から3年間、東京都豊島区の南池袋公園で伊江島産の島らっきょうをPRする「伊江島フェア」を開催し、平成29年1月には沖縄タイムスふるさと元

気応援企画「いめんしより伊江島んかい 観光・物産と芸能フェア」を沖縄タイムス本社ビルで実施した。

2. 離島フェアにおいては、各出展業者に対し、1台分の車両航送料の支援を行っている。

3. 次年度以降はそのような事例を参考にして、各種団体と協議を重ねながら物産フェアの検討をしたいと考えている。

問 村独自の物産フェアについて、検討できないか。

答 村長

次年度もしできるのであれば一括交付金を活用し、独自の物産フェアができるよう計画をしたい。



令和5年度恩納村等が一括交付金を活用し参加した
第14回サンシャインシティ沖縄めんそーれフェスタ（東京都）



なみざと はる お
並里 晴男 議員

公設民営で運営する各施設の租税は

村長
村の所有する財産は非課税となっている

問 これまで本村の農業生産振興を目的に行政主体で整備してきた施設を民営団体へ運営委託しているが以下の点について伺う。

1. 施設から派生する村への租税公課は
2. 各施設の固定資産税はいくらか

答 村長

1. これまで本村は農業生産振興と発展、就業機会の確保や後継者育成等を図るべく、国、県の補助事業を活用し施設整備を行い、整備後は、**指定管理者制度**による管理委託や業務委託で施設の管理運営を実施している。

2. 地方自治体の所有する財産については、地方税法第348条第1項によ



伊江村黒糖工場



伊江村農産物第二集出荷センター

り、「市町村は、国並びに都道府県、市町村、特別区、これらの組合、財産区及び合併特別区に対しては、固定資産税を課することができない」と定められており、村所有の財産については、非課税の扱いとなっている。

問 公設民営にすることの村の効果というものは、どういうふうに捉えているのか。

答 副村長 内間常喜

租税公課というものを考えて事業を入れているということは、正直申し上げてないということをお承知いただきたい。迅速に住民ニーズ、産業振興を図るためには、やはり公設し、直営にするのか、民営にするのかということを考えながら進めてきた歴史があるという認識をしている。

問 民設民営で建物も課税される、土地も課税される。税を納める。公設民営では、建物は課税されない。税負担の公平性から見ての考えは。

答 住民課長 平敷兼清

基本的には税法の中でのとった規程の

中で、税務の行政を進んでいくというのが公平性であると考えている。

問 政策として進めてきたこの公設民営について、もう少し踏み込んで、内部で考えるべきじゃないかと、時代も平成から令和になり、この公設民営については、卒業したらどうか。

答 副村長 内間常喜

公共工事、普通建設事業を構築していく中で、実施の在り方というものが、実際に可能なのかどうか。大変悩ましいところかなと思っているが、検討の余地はあると思っています。今後、行政改革の中で検討できればと考えている。

台風2号の影響による葉たばこの被害状況は

村長
2年連続の凶作となり、関係機関と連携し経営の安定と発展に資するよう取り組んでいく

台風2号により、収穫期を迎えた



うちま ひろき
内間 広樹 議員

葉たばこが折損、落葉、塩害や葉の擦れによる黄化現象がみられ、大幅な収量減及び品質の低下が懸念される。昨年の長雨の影響による収量減につづき、2年連続の凶作となり個人経営、共同乾燥施設運営に大きな影響が出ることは間違いない。振興会と行政と連携を取りながら何ができるか調整していただきたい。

答 村長

村としては、災害リスクへの対応として農業保険法に基づき国が財源を拠出する「農業共済制度」や「収入保険制度」の加入促進を図り農業経営の安定化を推進していく。

たばこ振興会をはじめとする関係機関と連携し、将来も持続的に葉たばこが生産され続け、経営の安定と発展に資するよう取り組んでいきたい。

※5 指定管理者制度

公の施設の管理・運営を民間事業者に委ね、民間の能力を活用することで、多様化する市民ニーズに効果的・効率的に対応し、市民サービスの向上や経費の節減等を図る制度。



議決の結果

令和5年第5回定例会

会期：6月15日(木)～6月16日(金)

議案番号	件 名	議決結果
報告第7号	令和4年度伊江村一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	原案報告
報告第8号	令和5年度伊江村人材育成会の業務報告について	//
報告第9号	伊江I期地区農業集落排水管路布設工事(R4-4)の専決処分の報告について	//
認定第1号	村道の路線変更について	原案認定
議案第35号	沖縄県消防通信指令施設運営協議会規約の変更について	原案可決
議案第36号	伊江村税条例の一部を改正する条例の制定について	//
議案第37号	伊江村手数料条例の一部を改正する条例の制定について	//
議案第38号	伊江村廃棄物の減量化の推進及び適正処理に関する条例の一部を改正する条例の制定について	//
議案第39号	東保育所アーケード整備工事の請負契約について	//
議案第40号	塵芥車購入の契約について	//
議案第41号	令和5年度伊江村一般会計補正予算(第2号)	//
議案第42号	令和5年度伊江村診療所特別会計補正予算(第1号)	//
議案第43号	令和5年度伊江村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	//
議案第44号	令和5年度伊江村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	//

第6回臨時会

会期：7月19日(水)

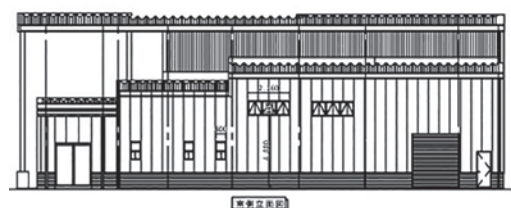
議案番号	件 名	議決結果
議案第45号	伊江村移住定住促進住宅新築工事の請負契約について	原案可決
議案第46号	伊江村移住定住促進住宅機械設備工事の請負契約について	//
議案第47号	令和5年度伊江村一般会計補正予算(第3号)	//
議案第48号	伊江港荷さばき施設整備工事の請負契約について	//
議案第49号	伊江島蒸留施設機能拡充事業整備工事(建築)の請負契約について	//
議案第50号	伊江村立診療所透析センター人工透析装置(備品購入)の契約について	//
議案第51号	西小学校外構改修工事(R5)の請負契約について	//

◆議案第49号 伊江島蒸留施設
機能拡充事業整備工事ってなに!?

蒸留機(イメージ)

本蒸留所(ラム酒工場)はバイオマスエタノールプラントを転用した施設であり、生産能力に限界があるため、蒸留機や貯蔵タンク等を拡充して生産能力を増強し、見学スペースや

試飲・販売所を新設するための建屋工事である。



建物外観(イメージ)

令和5年度北部市町村議会議員・事務局職員 研修会及びスポーツ・レク大会 7/4

北部12市町村が一堂に集い、国頭村の国頭村民ふれあいセンターで開催された。講演会では、一般社団法人国頭村観光協会会長 比嘉明男氏を講師に迎え、「世界自然遺産と北部観光」と題し、日本郵便株式会社沖縄支社支社長としての47年間の企業人としての歩みや併行して、地元安田区の評議員、スポーツ指導員に取り組む傍らヤンバルクイナの保護活動等に取り組み、世界自然遺産登録までの体験談を話された。また、現口サンゼルスエンジェルスで活躍している大谷翔平選手との秘話や国頭村に県内初のパークゴルフ場の導入、県内外からスポーツ選手が合宿、キャンプなどで訪れる国頭村総合運動公園の設置についての講演が行われた。

その後、やんばる野生生物保護センターウフギー自然館、道の駅ゆいゆい国頭を視察。くにがみ鏡地パークゴルフ場へ移動。各市町村の議員・事務局共に清々しい汗を流し交流が図られた。また親睦交流会では4市町村が余興を披露し、伊江村議会が令和元年に引き続き2度目の「最優秀賞」を受賞した。



比嘉明男氏による講演



伊江村議会の余興(国頭サバクイ)

議員活動の注意点 7/28 オンラインセミナー

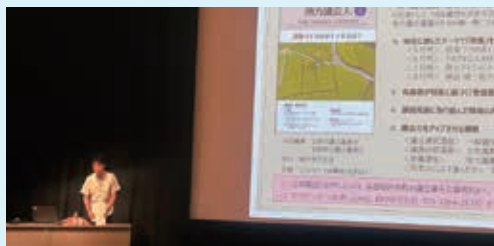
「これだけはやってはいけない議員活動の注意点」と題し、晴海パートナーズ法律事務所 帖佐直美弁護士に具体例を交えながら、第一部 自治体議員の仕事とは、第2部議場での注意点、第3部議場の外での注意点についてオンラインで講義して頂いた。



全議員(役場2階中会議室)

国民保護計画、町村議会議員の現状と課題 8/17 町村議会正副議長・正副委員長研修会

今回の研修では、町村議会議員163人、事務局職員47人、総勢210人が一斉に集い、北谷町のちやたんニライセンターで研修があり、沖縄県知事公室 防災危機管理課 山里永悟氏が「国民保護計画について」と題し講演が行われた。また、全国町村議会議長会 議事調査部部長 飯田厚氏が「町村議会を取り巻く現状と課題」と題し講演を行った。



飯田厚氏による講演



令和4年度

主な完了事業をCheck! チェック

沖縄振興特別推進交付金

(復帰50周年記念～伊江島の歴史・保存継承事業)

総事業費：510万円

事業内容 復帰における歴史を若い世代へ継承するため、映像作成や記念イベントを行う。

議員 Check! 若い世代へ伝えることの大切さ!



特定防衛施設周辺整備調整交付金事業

(共同調理場配送車購入事業) 総事業費：961万円

事業内容 衛生面、安全面を考慮し、新たに配送車1台を購入。

議員 Check! 学校給食の安心安全提供へ!



介護人材確保対策事業 (伊江村介護職員初任者研修事業)

総事業費：147万円

事業内容 介護職員初任者研修を修了した者は身体介護(食事、排せつ、入浴等の利用者さんの身体に直接触れる介護)を行うことができるため、訪問介護員(ヘルパー)として従事することができる。研修は13日間行われ12名の参加があった。

議員 Check! 村内のヘルパー不足の解消へ



沖縄振興公共投資交付金 (伊江村循環型農業促進事業)

総事業費：5,120万円

事業内容 堆肥の製造体制を強化し、循環型農業の促進を図るため、原料回収車2台及び自走式攪拌機の購入。



議員 Check! 堆肥製造のスピード化へ向けて!

議会の活動

6月 June

- 5日：村人材育成会・理事会・総会
- 6日：太陽の花総会（議長）
- 8日：故高野之夫豊島区長を偲ぶ会（議長/東京都）
- 9日：例月出納検査（虻江監査委員）
- 11日：伊江村郷友会総会・敬老会（議員/南風原町）
- 12日：議会運営委員会・全員協議会（全議）
- 15日～16日：第5回伊江村議会定例会
- 21日：海神祭（議員）
- 22日：社協評議委員会（議長・亀里議員）
- 23日：令和5年沖縄全戦没者追悼式（議長/糸満市）
伊江漁協総会（議長）
- 25日：伊江中学校運動会（全議）
- 26日：九州各県町村議会議長会協議会（議長/福岡県）



7月 July

- 2日：イージマ郷友会総会（議長/名護市）
- 3日：令和5年度北部市町村議会議員・事務局職員研修
及びスポーツ・レク大会（議員/国頭村）
- 4日：令和4年度決算審査開始（虻江監査委員）
- 6日：町村議会議長会役員会（議長/那覇市）
- 7日：例月出納検査（虻江監査委員）
- 9日：関東伊江島城会第27回定期総会（議長/東京都）
- 11日：全国町村議会理事会（議長/東京都）
- 12日：全国町村議会臨時総会（議長/東京都）
- 13日：全国都道府県会長会（議長/東京都）
- 19日：第6回伊江村議会臨時会
- 24日：県産品奨励月間要請団来村（副議長）
奄美・やんばる広域圏交流推進協議会総会
（議長/鹿児島県）
- 27日：那覇空港拡張整備促進連盟令和5年度総会
（議長/那覇市）
- 28日：自治体議員オンラインセミナー（全議）



令和5年度北部市町村議会議員・事務局職員研修
及びスポーツ・レク大会（パークゴルフ）



八木実団長から県産品優先使用について
陳情書受け取る内閣副議長

8月 August

- 8日：例月出納検査（虻江監査委員）
- 9日：沖縄県商工会連合会設立50周年記念事業
（議長/宜野湾市）
- 10日：北部広域組合第62回臨時会（議長/名護市）
- 14日：第2回定例会北部市町村議長会
（議長/伊是名村）
- 16日：町村議会正副議長・正副委員長研修会
（正副議長・正副委員長/北谷町）
- 20日：第6回平和大会並びに伊江島緑十字機を語
る会との親睦交流会（議長/静岡県）
- 23日：北部振興会第1回評議員会（議長/名護市）
広報委員会（広報委員）
- 25日：第52回伊江村畜産共進会（全議）
- 29日：令和5年度町村議会広報クリニック
（広報委員/東京都）

▶ 9月定例会予定

9月12日(火) 午前10時～

議会傍聴を希望される方は、議会事務局 (☎49-2924) へお問合せ下さい。





わたし

私が、いえそんを

か
書きました!

しまぶくろ

名前

島袋 エミ子

生年月日

昭和14年生 満84歳

行政区・屋号

西江上区・ウシャセーク
特別養護老人ホームいえしま

職員からみたエミ子さん

今年卯年生まれのエミ子さんは、老人ホームで趣味の編みものをされ、編んだ物を他の入所者や家族にプレゼントしたり、リハビリになるからと何でも積極的に取り組み前向きな方です。題字をお願いすると、中学校以来に字を書くと言われましたがサラッと達筆に書いていただきました。

2023年4月1日 ▶ 2024年3月31日
**農家支援
キャンペーン**

配達・散布料 (税込)

定価	半額
配達料 1,100 円/ト (税込)	550 円/ト
散布料 2,200 円/ト (税込)	1,100 円/ト

堆肥の価格 (税込)

定価	半額
宮城堆肥 11,000 円/ト	5,500 円/ト
中熱堆肥 5,500 円/ト	2,750 円/ト
500kg 袋 5,500 円/袋	2,750 円/袋
15kg 袋 330 円/袋	165 円/袋

令和5年度農家支援キャンペーン
(—は在庫切れ)

あの質問・質疑どうなった!? 令和4年6月定例会 困窮する農畜産業に支援を!



質

農畜産業は、生産コストの高騰を生産物の価格に転嫁できないことから、より一層、困窮することが懸念される。村として農畜産業に対する支援はあるか。

答

県が実施を予定する補助金の情報収集に努め、正式に決定次第、速やかに事業が実施できるようにする。さらには、7月から堆肥購入の負担軽減が図られるよう取り組む。

現

令和4年7月から農家支援キャンペーン(堆肥の配達料を無料、堆肥販売を半額)実施した。令和5年度は、年中通して、農家支援キャンペーン(堆肥の配達料、堆肥販売ともに半額)を実施している。また畜産農家に対しては、令和4年4月・令和5年3月まで配合飼料高騰対策事業を行った。

ドウンチュイムニ 独り言

台風6号は、進路がUターンするなど複雑な経路をたどり、2度暴風域に巻き込まれ、長時間暴風雨に見舞われた。村の生活航路であるフェリーが9日間も運休し、過去最長の欠航とのこと。物流がストップしスーパーやコンビニの陳列棚も空の状態になった。島内の一部地区で4日間の停電もあったが、電力関係者の懸命な復旧作業により、本島地域よりも復旧が早く、関係者の皆さんの尽力に感謝です。

終戦後、敗戦を知らない日本兵2人が2年にわたり生活していた巨木の「ニーバンガズィマール」が台風の強風にあおられて根元から倒れた。台風の猛威の凄さを思い知らされた。

島の平和の象徴でもある「ニーバンガズィマール」が樹木のもつ生命力で再生し、青々とした緑が生い茂って、再び学生の平和学習や観光客が訪れる場所となることを願う。

広報委員 宮城 弘和

今月の表紙

伊江小学校6年生

議会傍聴に来た伊江小学校6年生21名、
教員2名と伊江村議会議員と村長

議会や議会広報に関してご意見やご要望をお寄せ下さい。

(0980) 49-2924 伊江村議会事務局

印刷インキに植物由来の原料を配合して、
温室効果ガスの発生を低減しています。読みやすいユニバーサルデザインフォントを
使用しています。

議会広報 いえそん

No.182 9月号